

TAKASU HOUSE について

2010年に発足した取手アートプロジェクト《半農半芸》は、この春、茨城県取手市高須地域・小貝川のすぐそばの農協建物をリノベートし、スタジオ・ラボ・ギャラリー・オフィス・多目的スペースを兼ね備えた活動拠点「TAKASU HOUSE」をオープンします。アーティストやデザイナー、建築家、研究者などのクリエイターが、大地や風土と向き合いながら地域の方々と協働し、これからの「生きるコト」「住まうコト」を考える場をつくっていききたいと思っています。「TAKASU HOUSE」では、展覧会やワークショップ、講演会、プロジェクトの活動紹介など多様なプログラムを展開し、地域の子もたちから大人まで、多様な世代が集える憩いと創造の場を目指します。そして日本、ひいては東アジアの「新しいアートの最前線基地」となるべく、活動をしていきます。

プロジェクト参加アーティスト



岩間賢
Iwama Satoshi

1974年千葉県生まれ。これまでに場と人との対話を生み出す作品を多数発表。2002年に東京芸術大学美術学部博士過程修了。2006年から文化庁在外研修員として中国にて創作研究活動を行う。近年では、大地の芸術祭や中房総国際芸術祭、中国ビエンナーレなどの芸術祭に美術家としてまた芸術監督として参加。
HP：<http://www.oh-mame.com/>



岡博美
Oka Hiromi

1976年三重県生まれ。染工房「呼吸-kokuyu-」を、京都造形芸術大学大学院在籍中に設立。2004年に同大学院芸術表現専攻修士課程修了。染織技法を活用したインスタレーションや平面作品を京都高台寺、豪商稲葉邸など国内外で多数発表。また、藍染を中心とした天然染料の研究を行っており、高須では天然染料を活用した絵具づくりを進めている。

風景と食設計室ホー

HOO. Landscape and food works

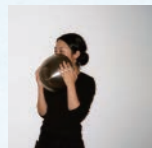
高岡友美と永森志希乃によるユニット。ランドスケープデザイン事務所を経て、2012年3月より活動。'遠くの風景と、ひとさじのスープ。世界とわたしの手のひらは繋がっている'をコンセプトに、食を風景・文化・社会の切り口から捉え、その時その場所できか体験できない食のインスタレーションを展開。フードプレゼンテーション、アートプロジェクト、デザインなど幅広く手がける。

HP：<http://hoooooooooooo.tumblr.com/>



高岡友美
Takaoka Tomomi

1981年愛知県生まれ。2005年に東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻を卒業。同大学在学中にフードデザインユニット .automeal として活動。2008年に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス大学院政策・メディア研究科修了。2008年よりランドスケープデザイン事務所に勤務し、ランドスケープデザイン、パブリックアートなど国内外の案件を担当する。2012年より風景と食設計室ホーとして活動開始。



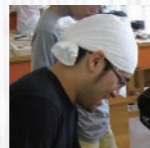
永森志希乃
Nagamori Shikino

1980年富山県生まれ。2003年金沢市立金沢美術工芸大学美術工芸学部環境デザイン専攻を卒業。2004年よりランドスケープデザイン事務所に勤務し、ランドスケープデザイン、パブリックアートなど国内外の案件を担当する。2012年より風景と食設計室ホーとして活動開始。



チョウハシトル
Chohashi Toru

1979年神奈川県生まれ。多摩美術大学卒業後、家具のデザイン事務所に勤務。出身地神奈川県での独立を機に、地域の方との出会いを求めてやきいも日和を設立。古き良き日本の食文化である「焼き芋」を継承するとともに、現代にマッチした新しい焼き芋を表現している。現在、神奈川県中郡大磯町を拠点に活動中。
HP：<http://yakiimo-biyori.com/>



鈴木敦夫
Suzumura Atsuo

1981年岐阜県生まれ。2006年に東京芸術大学大学院美術研究科壁画専攻を修了後、美術振興財団の助成金を受けイタリア・ラヴェンナにて研修。世界遺産でもある教会のモザイク壁画を修復。半農半芸では、モザイク制作と薫製づくりを繋げたWSを行い、オリジナル薫製器と薫製製品の開発を進めている。



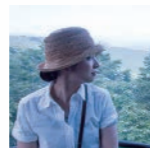
塩月洋生
Shiotsuki Yousei

1973年宮城県生まれ。宇都宮大学卒業。在学中より舞踏公演の屋外舞台設計・製作に携わる。ストローベイル建築と出会い、2006年に食と住と人をつなぐ「はさ掛けトラスト」立ち上げ、岐阜県白川町に移住。2011年より自邸の設計・自力建築に着手。半農半芸では、縁農プログラムとして岐阜で活動中。
HP：<http://ku-sumu.seesaa.net/>



白井拓朗
Usui Takuro

1981年岐阜県生まれ。2009年に東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻後期博士過程修了(Ph.D)。見るごと、時間の経過や記憶することとの関わりをテーマに、インスタレーションや映像(ストップモーション・アニメーション)作品を制作/発表している。半農半芸では、ウェブサイトやデザイン面などの情報発信を担当している。



菊池絵子
Kikuchi Nuiko

1981年長野県生まれ。2006年に東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻油画修了。2010年4月から2013年3月まで同大学美術学部油画第7研究室教育研究助手。紙やキャンバスに身近な物をモチーフに絵を描き、発表している。半農半芸では、白井拓朗と共に広報に関わる色々な媒体のデザインとそれに伴う事務作業を担当している。

TAKASU HOUSE お披露目会

＋ フォーラム *要予約

「地域文化としての《半農半芸》—— 人・地域・労働の未来」

基調講演 「育ち続けるアートの“場”」



芹沢高志
Serizawa Takashi

1951年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株)リジナル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。89年にP3 art and environment を開設。99年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展『デメーテル』の総合ディレクター(2002年)、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(2003年~)、横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』総合ディレクター(2009年、2012年)。また現在、P3 art and environment 統括ディレクター(ピースリーマネジメント有限公司代表取締役)。2012年よりデザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)センター長も務める。



お披露目会 + フォーラム *1

- 12:00 開場(権兵衛けんちん汁麻味噌風味、あたたかい飲み物などをご用意しています)
 - 「これまでの活動アーカイブ・作品展示」「アーティスト紹介・インタビュー映像」「地域産業とのコラボレーション商品紹介」
- 12:15 TAKASU HOUSE オープン
- 12:30 フォーラム受付開始
- 13:00 フォーラム
 - 【第一部】基調講演「育ち続けるアートの“場”をつくる」(40分)
 - 講師: 芹沢高志氏 (P3 art and environment 統括ディレクター)
 - 【第二部】活動紹介 (70分)
 - プロジェクト紹介・参加アーティストによるプレゼンテーション
 - 【第三部】ラウンドテーブル (50分)
 - ファシリテーター: 森司 (東京アートポイント計画ディレクター、取手アートプロジェクト実施副本部長)
- 16:00 フォーラム終了
- 16:10 やきいも日和「つぼやきいも」/ 記念撮影
- 16:30 取手駅行き送迎バス出発 *2

※ 12:00~16:30 まで TAKASU HOUSE 内の展示はご自由にご覧いただけます。

*1 フォーラムへのご参加は、予約制となります。

*2 送迎バスにつきましては、裏面のアクセスをご覧ください。

フォーラムのご予約

件名を「2/1 フォーラム参加希望」とし、Eメール(info@takasuhouse.com)もしくはFAX (0297-72-0177)で「お名前」「人数」「当日連絡のとれる電話番号」をご連絡ください。